

# 最近の県経済動向

*Fukushima Economic Performance Monthly*

平成14年2月25日



うつくしま、ふくしま。

福島県

---

## 目次

1 最近の県経済動向	1
2 福島県の主要経済指標	3
個人消費	
大型小売店販売額 乗用車新規登録台数	3
建設需要	
新設住宅着工戸数 公共工事請負金額 業務用建築物着工棟数	3
生産活動	
鉱工業生産指数 投資財生産指数 消費財生産指数	4
鉱工業出荷指数 鉱工業在庫指数	
大口電力使用量 大口電力契約量	5
雇用・労働	
新規求人倍率 有効求人倍率	5
有効求人数 有効求職者数 雇用保険受給者実人員 現金給与総額指数	6
所定外労働時間指数 常用雇用指数 パートタイム労働者比率	7
物価	
卸売物価指数 消費者物価指数	7
企業・金融	
企業倒産件数・負債総額 金融機関預貸残高 貸出約定平均金利	8
中小企業業況判断DI	9
市場	
株式 円相場	9
3 景気動向指数(福島県)	10
4 中小企業経営動向調査(財)福島県産業振興センター)	11
5 中小企業景況レポート(福島県中小企業団体中央会)	12
(参考)	
1 福島県金融経済概況	14
2 月例経済報告	14

### お願い

本統計表から抜粋又は新たに資料を作成して利用する場合は、『福島県 最近の県経済動向から抜粋(又は作成)』と御記入くださるようお願いいたします。

福島県企画調整部統計調査課  
分析・情報グループ 分析チーム  
〒960-8670 福島市杉妻町2番16号  
電話 024(521)7149  
FAX 024(521)7914

## 1 最近の県経済動向

県内の景気は、個人消費の低迷と生産活動や雇用情勢の悪化で、一層厳しさを増している。

### (1) 個人消費

**大型小売店販売額(12月)**は総額約260億円で、前年同月比(店舗調整後)6.0%の減少となり、12年10月を除き9年9月から前年割れが続いている。

内訳を見ると、百貨店は衣料品、飲食料品、家庭用品、その他の商品が前年を下回ったため、同7.5%の減少となった。一方、スーパーは衣料品、身の回り品、飲食料品、家庭用品が前年を下回ったため、同5.5%の減少となった。スーパーでは厳しい状態が長期にわたって続いている。

**乗用車新規登録台数(1月)**は5,404台で、前年同月比6.9%の増加となった。

内訳を見ると、大型車、中型車は前年を下回ったが、小型車、軽自動車は上回った。

### (2) 建設需要

**新設住宅着工戸数(12月)**は総戸数1,306戸で、前年同月比4.0%の減少となった。

内訳を見ると、持家の前年割れが続いている。

**公共工事請負金額(1月)**は総額約136億円で、前年同月比9.3%の減少となった。

内訳を見ると、国の機関、地方の機関からの発注とも前年を下回った。

4月からの累計では、前年比2.4%の減少となった。

**業務用建築物着工棟数(12月)**は101棟で、前年同月比40.9%の減少となった。

内訳を見ると、サービス業用は前年を上回ったが、鉱工業用、商業用は下回った。

### (3) 生産活動

**鉱工業生産指数(12月)**は89.4で、前年同月比16.0%の低下となり、11か月連続で前年を下回った。

これは、電気機械で前年割れが続いているのを始め、その他の業種も悪化していることによるものである。

**投資財生産指数(12月)**は73.6で、資本財、建設財とも前年を下回ったため、前年同月比27.2%の低下となった。

**消費財生産指数(12月)**は109.6で、耐久消費財、非耐久消費財とも前年を下回ったため、前年同月比5.0%の低下となった。

**出荷指数(12月)**は102.8(前年同月比10.5%)、**在庫指数(12月)**は96.1(同28.3%)となった。

**大口電力使用量(12月)**、**大口電力契約量(12月)**はともに前年を下回った。

### (4) 雇用・労働

**新規求人倍率(12月)**は0.68倍で、前月から0.03ポイントの上昇となった。

**有効求人倍率(12月)**は0.40倍で、12年12月の0.75倍をピークに悪化が続いている。

**雇用保険受給者実人員(12月)**は20,521人で、3か月連続で20,000人台となった。

**現金給与総額指数(名目・12月)**は190.6で、6か月振りに前年を上回った。

**所定外労働時間指数(12月)**は94.9で、8か月連続で前年を下回った。

**常用雇用指数(12月)**は98.5で、11年2月以降、前年を下回る動きが続いている。

(5) 物価

**卸売物価指数(全国・1月)**は94.4で、下落している。

**消費者物価指数(12月)**は101.7で、前年同月比1.2%の低下となった。

(6) 企業・金融

**企業倒産(1月)**は、件数は13件で前年同月比48.0%の減少となった。負債総額は23億9300万円で、前年が大型倒産の発生により突出していたため、前年同月比98.0%の大幅な減少となった。

倒産件数を業種別に見ると、建設関係と卸売業がそれぞれ4件で最も多くなっている。また、理由別では販売不振が12件と大半を占めている。

**金融機関預金残高(12月)**は総額5兆7283億円で、前年同月比2.7%の減少となった。

一方、**貸出残高**は総額4兆33億円で、前年同月比1.0%の増加となった。

**貸出約定平均金利(12月)**は、2.262%となり前月を下回った。

(7) 中小企業の業況

**県内中小企業の業況感を表すDI値(1月)**は64.5で、前月の65.2に比べて0.7ポイントの改善となった。

業種別に見ると、製造業、卸売業、サービス業は改善したが、建設業、小売業は悪化した。製造業、建設業、小売業では、60超の厳しい状況にある。

## 2 福島県の主要経済指標

区分 年月	個人消費				建設需要					
	1 大型小売店販売額		2 乗用車新規登録台数		3 新設住宅着工戸数		4 公共工事請負金額		5 業務用建築物 着工棟数	
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
	(百万円)	(億円)	(台)	(千台)	(戸)	(千戸)	(百万円)	(億円)	(棟)	(棟)
H10年	286,403	232,485	75,399	4,093	17,590	1,198	604,522	264,407	2,253	85,072
11	277,727	231,244	76,549	4,154	16,499	1,215	487,006	240,212	1,863	75,725
12	263,011	226,326	80,969	4,260	15,828	1,230	407,510	209,317	1,863	81,313
13			79,253	4,290	15,010	1,174			1,621	75,215
12年7月	22,971	21,014	6,930	378	1,363	102	45,957	17,658	190	7,731
8	21,508	17,065	4,752	255	1,353	104	31,474	16,598	143	7,268
9	19,817	16,395	7,519	386	1,305	106	34,995	19,877	153	6,908
10	22,340	18,926	6,077	323	1,410	105	38,651	20,122	181	6,876
11	19,884	18,536	6,579	353	1,349	107	32,467	15,271	185	6,709
12	28,439	25,726	5,850	335	1,360	110	35,360	14,422	171	6,554
13年1月	22,896	19,463	5,054	267	915	81	14,961	9,813	115	5,748
2	19,475	15,899	7,348	388	1,091	83	24,383	10,489	114	5,565
3	22,612	18,718	12,107	600	918	95	50,951	31,075	99	5,891
4	21,142	18,066	5,615	295	1,428	100	35,253	20,360	170	6,345
5	20,546	17,914	5,518	300	1,230	100	21,381	12,977	146	6,494
6	19,349	17,738	6,900	387	1,345	101	38,515	16,335	155	7,056
7	21,264	20,653	7,069	405	1,449	103	44,079	18,496	151	7,122
8	19,995	16,938	4,680	269	1,119	105	37,653	15,921	138	6,675
9	18,129	16,551	7,539	377	1,451	103	34,551	17,964	142	6,286
10	19,262	17,874	5,804	321	1,455	102	46,156	20,214	153	6,228
11	r 19,471	r 18,640	6,219	345	1,303	106	23,617	14,388	137	6,073
12	P 25,974	P 24,935	5,400	336	1,306	95	29,327	12,744	101	5,732
14年1月			5,404	281			13,563	9,612		
	前年同期(月)比									
H10年	9.7	4.4	8.6	8.9	8.5	13.6	22.9	11.7	10.7	17.0
11	5.0	4.3	1.5	1.5	6.2	1.4	19.4	9.2	17.3	11.0
12	2.7	4.7	5.8	2.6	4.1	1.3	16.3	12.9	0.0	7.4
13			2.1	0.7	5.2	4.6			13.0	7.5
12年7月	2.3	5.0	4.6	0.7	7.5	0.8	18.0	16.7	45.0	16.5
8	5.0	6.1	6.5	5.0	11.2	3.8	0.2	7.1	0.7	9.8
9	2.9	5.0	2.2	0.8	1.0	3.1	7.6	10.8	13.1	8.2
10	4.4	4.7	6.0	4.0	14.4	1.5	12.9	18.6	13.1	8.6
11	1.8	4.1	1.2	2.9	11.4	2.2	8.0	7.9	24.2	8.6
12	4.4	5.5	9.8	3.3	3.5	10.6	21.1	0.7	0.6	1.0
13年1月	2.4	2.6	4.0	2.3	15.5	11.1	38.2	17.1	7.5	0.5
2	2.6	5.0	2.5	0.2	18.0	5.9	13.1	16.0	24.5	8.5
3	3.8	2.9	1.8	0.7	19.1	1.4	3.8	15.9	27.2	5.4
4	4.2	3.6	2.2	0.9	7.6	7.2	68.0	4.7	19.7	6.5
5	5.3	3.2	0.1	2.1	0.4	0.2	35.2	23.5	0.0	4.3
6	2.3	1.9	4.8	0.9	14.8	10.5	13.1	7.1	1.9	8.0
7	2.4	3.1	2.0	7.3	6.3	1.4	4.1	4.7	20.5	7.9
8	3.5	3.2	1.5	5.5	17.3	1.1	19.6	4.1	3.5	8.2
9	3.0	0.7	0.3	2.3	11.2	2.9	1.3	9.6	7.2	9.0
10	11.5	7.1	4.5	0.4	3.2	3.3	19.4	0.5	15.5	9.4
11	4.1	0.7	5.5	2.1	3.4	1.2	27.3	5.8	25.9	9.5
12	6.0	2.5	7.7	0.5	4.0	12.9	17.1	11.6	40.9	12.5
14年1月			6.9	5.2			9.3	2.0		
備考	百貨店とスーパーの計		大型、中小型、軽乗用車の計		持家、貸家、給与住宅、分譲住宅の計		年表示は、年度ベース 国の機関と地方の機関の計		鉄工業用、商業用、サービス業用の計	
資料	経済産業省(商業動態統計調査)		自動車販売店協会(新車登録台数実績表) 軽自動車協会		県建築住宅課 国土交通省		保証事業会社協会(公共工事前払金保証統計)		建設統計月報 国土交通省	

rは訂正值 Pは速報値

区分 年月	生産活動									
	6 鉱工業生産指数		7 投資財生産指数		8 消費財生産指数		9 鉱工業出荷指数		10 鉱工業在庫指数	
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
H10年	97.7	98.5	86.5	96.7	106.8	100.7	104.7	99.8	131.5	105.1
11	98.6	99.3	83.2	92.9	111.2	101.3	106.1	101.1	136.5	96.0
12	101.6	105.2	87.1	97.8	111.8	102.7	108.2	107.3	147.9	95.4
13	P 94.5	P 96.9	P 80.1	P 92.0	P 108.9	P 99.2	P 104.7	P 99.2	P 111.9	P 98.1
12年7月	103.0	106.1	85.2	92.4	117.3	105.5	112.0	108.1	141.3	97.4
8	97.6	100.8	80.7	93.4	111.9	95.6	107.2	102.6	136.5	96.8
9	105.3	110.2	97.7	111.5	112.9	104.1	109.7	115.9	141.3	91.6
10	106.2	108.1	89.7	96.1	116.8	107.3	110.7	108.2	150.3	95.6
11	105.4	108.2	91.4	99.3	117.4	107.1	109.6	109.6	143.9	96.7
12	106.4	107.3	101.1	101.3	115.4	105.7	114.9	110.5	134.0	94.4
13年1月	93.8	95.4	81.8	88.9	93.3	88.2	97.0	95.4	120.1	99.2
2	98.4	101.2	90.9	99.8	105.8	98.6	104.0	103.2	112.0	100.8
3	105.7	114.4	101.8	130.0	120.7	109.6	114.2	122.5	111.3	94.2
4	93.5	97.1	68.0	88.1	106.9	100.0	101.1	96.7	118.8	97.8
5	93.7	93.8	75.9	83.8	110.5	97.2	100.8	93.5	121.0	101.0
6	96.8	98.1	82.8	91.0	113.2	103.3	105.3	99.8	120.1	101.7
7	95.6	96.9	78.8	87.4	111.2	101.4	106.3	99.5	118.6	101.1
8	88.4	89.0	72.7	82.1	105.6	92.8	100.8	91.0	117.3	100.7
9	92.0	96.2	79.6	97.7	108.7	97.8	108.5	101.9	108.1	94.6
10	93.9	95.3	76.0	84.1	110.3	103.9	108.5	95.8	100.0	96.4
11	92.2	r 94.1	79.8	r 85.6	110.9	r 100.8	106.6	95.9	99.2	r 96.2
12	P 89.4	P 91.3	P 73.6	P 84.9	P 109.6	P 96.7	P 102.8	P 95.0	P 96.1	P 92.9
14年1月	前年同期(月)比									
H10年	5.8	7.1	14.8	12.0	1.3	3.8	2.2	6.8	3.1	1.0
11	0.9	0.8	3.8	4.0	4.1	0.6	1.3	1.3	3.8	8.6
12	3.0	5.9	4.7	5.3	0.5	1.4	2.0	6.1	8.4	0.7
13	7.0	7.9	8.0	6.0	2.6	3.4	3.2	7.6	24.3	2.8
12年7月	0.8	4.2	3.5	0.6	0.8	0.3	0.6	4.7	23.2	0.2
8	5.3	8.7	11.3	9.1	4.0	4.1	7.0	9.7	9.5	0.5
9	2.4	4.0	13.2	3.2	0.6	0.3	1.6	4.4	3.7	0.2
10	4.8	6.7	12.7	8.0	5.0	3.2	2.6	6.2	3.7	2.1
11	0.3	3.7	4.9	8.6	2.7	0.9	3.8	3.0	8.2	1.5
12	4.3	4.1	21.2	8.0	2.4	0.3	4.0	4.0	14.9	2.3
13年1月	5.2	2.0	14.6	3.7	8.0	0.9	4.0	1.9	30.8	1.8
2	0.5	2.1	6.8	0.2	0.4	2.1	0.2	1.9	28.3	3.1
3	5.7	2.9	8.8	2.3	2.1	2.9	4.1	2.6	26.0	3.0
4	5.1	4.2	3.7	0.1	7.1	1.8	4.2	5.3	24.3	4.8
5	0.5	3.9	0.9	1.3	7.1	0.4	0.1	3.8	17.1	5.9
6	5.5	8.7	3.3	5.4	2.1	3.8	5.4	8.6	16.8	5.2
7	7.2	8.7	7.5	5.4	5.2	3.9	5.1	8.0	16.1	3.8
8	9.4	11.7	9.9	12.1	5.6	2.9	6.0	11.3	14.1	4.0
9	12.6	12.7	18.5	12.4	3.7	6.1	1.1	12.1	23.5	3.3
10	11.6	11.8	15.3	12.5	5.6	3.2	2.0	11.5	33.5	0.8
11	12.5	13.0	12.7	13.8	5.5	5.9	2.7	12.5	31.1	0.5
12	16.0	14.9	27.2	16.2	5.0	8.5	10.5	14.0	28.3	1.6
14年1月	備考									
備考	原指数 平成7年 = 100									
資料 出所	県統計調査課「鉱工業指数月報」 経済産業省									

rは訂正值 Pは速報値

区分 年月	雇用 労働						
	11 大口電力使用量		12 大口電力 契約量	13 新規求人倍率		14 有効求人倍率	
	福島県	全国	福島県	福島県	全国	福島県	全国
	(千kWh)	(百万kWh)	(kW)	(倍)	(倍)	(倍)	(倍)
H10年	4,459,474	258,248	1,197,593	0.92	0.92	0.57	0.53
11	4,587,953	256,891	1,197,182	0.89	0.87	0.51	0.48
12	5,002,712	266,707	1,226,599	1.08	1.05	0.65	0.59
13	5,046,831	259,858	1,259,922				
12年7月	451,246	23,843	1,231,799	1.10	1.09	0.66	0.60
8	422,584	23,019	1,234,208	1.11	1.10	0.68	0.62
9	434,915	23,305	1,240,145	1.17	1.12	0.69	0.63
10	435,961	22,983	1,243,752	1.14	1.13	0.71	0.64
11	436,429	22,141	1,251,783	1.20	1.16	0.73	0.65
12	443,058	22,065	1,254,270	1.17	1.15	0.75	0.66
13年1月	422,842	21,164	1,256,811	1.19	1.11	0.73	0.65
2	413,065	20,860	1,263,425	0.99	1.08	0.68	0.64
3	441,527	22,104	1,267,198	1.07	1.02	0.66	0.61
4	407,467	20,980	1,262,355	0.99	1.05	0.62	0.62
5	408,458	21,261	1,265,048	0.92	1.08	0.61	0.61
6	435,646	22,472	1,264,528	0.83	1.07	0.56	0.61
7	456,406	23,562	1,277,062	0.89	1.04	0.54	0.60
8	410,397	21,983	1,274,608	0.80	1.02	0.50	0.59
9	416,886	21,903	1,266,255	0.77	1.00	0.47	0.57
10	416,056	21,901	1,248,174	0.72	0.87	0.45	0.55
11	408,656	20,917	1,238,398	0.65	0.92	0.42	0.53
12	409,425	20,751	1,235,205	0.68	0.92	0.40	0.51
14年1月							
	前年同期(月)比						
H10年	2.4	3.0	2.7	-	-	-	-
11	2.9	0.5	0.0	-	-	-	-
12	9.0	3.8	2.5	-	-	-	-
13	0.9	2.6	2.7				
12年7月	10.5	5.2	3.2	-	-	-	-
8	10.6	5.0	3.1	-	-	-	-
9	8.1	1.5	3.7	-	-	-	-
10	10.2	2.6	3.8	-	-	-	-
11	12.6	2.8	4.6	-	-	-	-
12	12.9	2.6	4.7	-	-	-	-
13年1月	12.3	3.8	4.6	-	-	-	-
2	5.1	1.7	4.7	-	-	-	-
3	7.0	0.3	4.9	-	-	-	-
4	6.2	0.4	4.1	-	-	-	-
5	5.5	1.0	4.2	-	-	-	-
6	2.5	2.3	3.6	-	-	-	-
7	1.1	1.2	3.7	-	-	-	-
8	2.9	4.5	3.3	-	-	-	-
9	4.1	6.0	2.1	-	-	-	-
10	4.6	4.7	0.4	-	-	-	-
11	6.4	5.5	1.1	-	-	-	-
12	7.6	6.0	1.5	-	-	-	-
14年1月							
備考	県は東北電力、国は電力10社計 契約量の年値は、月平均値			新規、有効求人倍率の年値は原数値、各月値は季節調整値			
資料 出所	東北電力福島支店 電気事業連合会			福島労働局職業安定部 厚生労働省			

区分 年月	15 有効求人数		16 有効求職者数		17 雇用保険受給者実人員		18 現金給与総額 指数(名目)	
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
	(人)	(千人)	(人)	(千人)	(人)	(千人)		
H10年	19,786	1,265	33,523	2,395	16,244	1,021	103.0	101.4
11	18,595	1,207	36,783	2,530	17,401	1,073	99.6	100.1
12	23,413	1,473	35,986	2,507	16,193	1,038	100.8	100.6
13								99.4
12年7月	22,653	1,395	36,300	2,478	16,573	1,064	115.2	123.1
8	24,371	1,494	35,715	2,456	17,046	1,115	93.4	89.4
9	26,023	1,591	35,224	2,433	15,810	1,055	84.6	81.5
10	26,678	1,653	35,504	2,458	16,084	1,064	85.1	81.9
11	26,706	1,615	33,708	2,362	15,754	1,038	85.0	84.7
12	24,486	1,517	32,278	2,288	15,130	1,000	187.6	190.1
13年1月	24,785	1,556	34,469	2,417	15,088	1,003	86.6	87.5
2	24,233	1,633	34,344	2,442	15,326	993	83.9	80.3
3	25,543	1,774	36,448	2,593	15,117	973	90.6	85.9
4	23,918	1,706	40,697	2,810	15,656	984	83.9	82.6
5	23,165	1,545	41,924	2,761	17,635	1,090	82.6	81.1
6	20,950	1,457	41,193	2,638	17,419	1,073	143.5	137.4
7	21,067	1,453	41,231	2,580	19,033	1,138	109.1	122.4
8	20,477	1,477	40,924	2,553	19,271	1,167	92.2	87.6
9	20,643	1,515	41,381	2,545	19,150	1,125	83.0	80.5
10	21,156	1,530	44,445	2,672	20,618	1,166	84.1	80.9
11	20,151	1,455	44,305	2,616	20,404	1,138	83.1	83.6
12	17,386	1,310	42,994	2,546	20,521	1,112	190.6	183.1
14年1月								
	前年同期(月)比							
H10年	20.3	15.3	17.8	15.6	21.5	16.8	1.5	1.3
11	6.0	4.6	9.7	5.6	7.1	5.1	3.3	1.3
12	25.9	22.0	22	0.9	6.9	3.3	1.2	0.5
13								1.2
12年7月	28.6	26.1	29	1.9	8.3	4.9	1.7	0.4
8	28.8	28.9	27	1.3	8.1	3.0	0.5	1.0
9	26.3	27.7	45	2.0	13.6	6.2	2.8	0.9
10	30.1	30.3	33	0.9	8.7	3.0	1.3	0.9
11	31.0	29.0	67	2.2	10.2	4.2	2.0	0.7
12	30.2	30.0	52	1.8	10.3	5.2	3.9	0.9
13年1月	24.3	25.1	45	2.1	8.4	3.0	3.7	1.3
2	17.0	19.9	19	2.3	7.4	4.4	1.7	0.5
3	13.0	14.7	0.2	0.7	4.2	2.2	3.4	0.5
4	6.3	13.7	4.1	1.8	1.9	0.4	0.7	0.0
5	4.8	12.1	7.7	2.8	6.4	7.4	1.5	0.1
6	5.6	6.0	9.4	2.2	5.0	2.0	2.9	0.9
7	7.0	4.2	13.6	4.1	14.8	7.0	5.3	0.6
8	16.0	1.1	14.6	3.9	13.1	4.7	1.3	2.0
9	20.7	4.8	17.5	4.6	21.1	6.6	1.9	1.2
10	20.7	7.4	25.2	8.7	28.2	9.6	1.2	1.2
11	24.5	9.9	31.4	10.8	29.5	9.6	2.2	1.3
12	29.0	13.6	33.2	11.3	35.6	11.2	1.6	3.7
14年1月								
備考							全産業5人以上 平成7年=100	
資料 出所							県統計調査課「毎月勤労統計 調査結果速報」厚生労働省	



区分 年月							物価			
	19 所定外労働時間指数		20 常用雇用指数		21 パートタイム 労働者比率		22 卸売物価 指数	23 消費者物価指数		
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	全国	福島県	全国	
H10年	100.8	99.6	102.7	101.9	12.6	16.3	97.5	103.8	102.5	
11	90.0	97.7	101.8	101.6	15.8	19.5	96.1	103.5	102.2	
12	99.6	101.2	101.3	101.4	15.4	20.2	96.1	103.0	101.5	
13		96.7		101.2		21.0	95.3	102.5	101.0	
12年7月	100.0	100.0	101.3	101.9	15.1	20.2	96.4	102.9	101.3	
8	100.0	96.9	101.4	101.7	15.3	20.4	96.4	102.9	101.3	
9	104.0	101.0	101.2	101.5	15.3	20.4	96.3	102.9	101.6	
10	104.0	103.1	101.3	101.4	15.5	20.5	95.9	103.1	101.7	
11	105.1	106.2	101.2	101.6	15.2	20.6	95.9	102.7	101.5	
12	104.0	107.2	100.8	101.6	16.0	20.7	95.9	102.9	101.5	
13年1月	97.0	96.9	98.5	101.0	13.7	21.0	95.7	103.4	101.5	
2	102.0	100.0	98.9	100.7	14.7	21.0	95.7	103.1	101.2	
3	109.1	105.2	98.8	100.4	14.4	20.9	95.6	103.0	101.1	
4	106.1	102.1	99.3	101.3	14.9	20.6	95.5	102.8	101.3	
5	89.9	94.8	98.8	101.4	15.2	20.7	95.5	103.1	101.3	
6	90.9	94.8	98.8	101.6	15.1	20.7	95.4	102.3	101.0	
7	93.9	94.8	98.9	101.7	16.0	20.9	95.5	101.7	100.5	
8	87.9	91.8	98.6	101.5	16.9	21.1	95.4	102.1	100.8	
9	89.9	92.8	99.3	101.3	16.7	21.1	95.2	102.0	100.9	
10	92.9	94.8	98.9	101.3	16.6	21.0	94.8	102.4	101.1	
11	94.9	95.9	99.1	101.3	17.3	21.2	94.6	101.8	100.6	
12	94.9	96.9	98.5	101.3	16.4	21.5	94.6	101.7	100.3	
14年1月							94.4			
	前年同期(月)比									
H10年	4.8	7.6	0.3	0.2	-	-	1.6	1.1	0.6	
11	10.7	1.9	0.9	0.3	-	-	1.5	0.3	0.3	
12	10.7	3.6	0.5	0.2	-	-	0.1	0.5	0.7	
13		4.4		0.2		-	0.9	0.5	0.5	
12年7月	16.4	4.3	0.5	0.1	-	-	0.3	0.0	0.5	
8	19.3	3.3	0.1	0.2	-	-	0.2	0.6	0.8	
9	15.7	4.2	0.4	0.2	-	-	0.1	0.8	0.8	
10	8.3	3.1	0.3	0.1	-	-	0.2	0.5	0.9	
11	6.2	3.0	0.9	0.0	-	-	0.2	0.5	0.5	
12	8.3	3.0	1.5	0.1	-	-	0.2	0.0	0.2	
13年1月	6.7	2.2	3.1	0.1	-	-	0.4	0.5	0.1	
2	5.2	1.0	2.2	0.1	-	-	0.4	0.3	0.1	
3	7.0	0.9	1.4	0.2	-	-	0.6	0.1	0.4	
4	4.0	2.9	2.6	0.2	-	-	0.7	0.6	0.4	
5	2.2	2.2	2.7	0.2	-	-	0.6	0.3	0.5	
6	3.2	3.2	2.8	0.2	-	-	0.7	0.8	0.5	
7	6.1	5.2	2.4	0.2	-	-	0.9	1.2	0.8	
8	12.1	5.3	2.8	0.2	-	-	1.0	0.8	0.5	
9	13.6	8.1	1.9	0.2	-	-	1.1	0.9	0.7	
10	10.7	8.1	2.4	0.1	-	-	1.1	0.7	0.6	
11	9.7	9.7	2.1	0.3	-	-	1.4	0.9	0.9	
12	8.7	9.6	2.3	0.3	-	-	1.4	1.2	1.2	
14年1月							1.4			
備考							(総平均)	(総合)		
							平成7年=100	平成7年=100		
資料 出所							日本銀行 「経済統計月報」	県統計調査課「福島県消費者 物価指数」総務省		

区分 年月	企業・金融									
	24 企業倒産				25 金融機関預貸残高				26 貸出約定平均金利	
	福島県		全国		福島県		全国		福島県	全国
	件数	負債総額	件数	負債総額	金融機関 預金残高	金融機関 貸出残高	国内銀行 預金残高	国内銀行 貸出残高	地元地銀 3行	国内銀行
(件)	(百万円)	(件)	(億円)	(億円)	(億円)	(百億円)	(百億円)	(%)	(%)	
H10年	296	89,842	19,171	143,812	57,049	41,143	47,789	48,882	2.712	2.255
11	202	195,800	15,460	135,522	57,742	39,634	48,677	46,881	2.652	2.100
12	257	64,113	19,071	239,874	58,886	39,654	48,218	46,392	2.506	2.116
13	289	214,959	19,441	162,130	57,283	40,033			2.262	1.880
12年7月	18	3,783	1,617	42,643	58,646	39,039	48,708	45,440	2.539	2.034
8	26	13,037	1,704	13,784	58,545	39,125	47,231	45,410	2.541	2.051
9	14	1,675	1,502	7,742	58,212	39,518	47,767	46,016	2.501	2.070
10	27	3,499	1,711	85,611	57,569	39,201	47,063	45,460	2.501	2.087
11	25	4,856	1,683	12,226	58,111	38,954	47,734	45,601	2.523	2.091
12	40	7,332	1,550	8,319	58,886	39,654	48,218	46,392	2.506	2.116
13年1月	25	118,508	1,358	9,696	57,808	38,870	47,858	45,850	2.509	2.106
2	17	11,363	1,448	11,153	57,970	39,985	47,723	45,701	2.442	2.092
3	22	4,597	1,703	23,668	57,158	40,315	47,686	45,697	2.454	2.047
4	29	18,249	1,631	10,480	58,158	40,687	48,758	45,006	2.355	2.017
5	20	12,516	1,724	10,215	57,420	40,038	48,489	44,559	2.335	1.990
6	22	5,345	1,563	6,907	57,979	39,861	48,237	44,729	2.322	1.950
7	30	14,668	1,567	7,470	57,231	39,464	47,888	44,543	2.340	1.936
8	34	10,922	1,612	7,355	57,102	39,333	47,748	44,400	2.330	1.925
9	23	6,238	1,568	30,013	57,484	39,559	48,079	45,056	2.330	1.896
10	29	5,033	1,911	10,710	56,757	39,503	47,674	44,375	2.287	1.898
11	19	4,446	1,851	18,821	57,146	39,543	48,207	44,320	2.268	1.898
12	19	3,074	1,505	15,641	57,283	40,033			2.262	1.88
14年1月	13	2,393	1,620	10,673						
	前年同期(月)比				前年同期(月)比					
H10年	37.0	126.0	17.1	2.6	1.5	0.5	0.7	0.9	-	-
11	31.8	117.9	19.4	5.8	1.2	3.7	1.9	4.1	-	-
12	27.2	67.3	23.4	77.0	2.0	0.1	0.9	1.0	-	-
13	12.5	235.3	1.9	32.4	2.7	1.0			-	-
12年7月	5.9	97.7	21.4	214.7	2.1	0.9	0.3	3.3	-	-
8	8.3	258.0	21.5	47.4	2.8	0.2	2.3	2.4	-	-
9	0.0	20.1	9.5	17.6	2.8	0.6	0.7	0.9	-	-
10	22.7	38.6	22.7	1,253.4	1.6	0.2	2.5	2.0	-	-
11	56.3	97.4	22.7	199.3	1.9	0.1	1.5	1.1	-	-
12	100.0	151.5	0.2	111.9	2.0	0.1	0.9	1.0	-	-
13年1月	25.0	5,378.9	5.8	60.6	1.9	1.4	1.1	0.9	-	-
2	21.4	524.0	0.3	7.6	2.1	0.1	0.2	1.2	-	-
3	29.4	62.4	3.8	265.9	0.6	0.9	1.0	1.4	-	-
4	11.5	109.6	4.4	10.8	0.0	2.5	0.4	1.6	-	-
5	42.9	508.8	12.8	39.1	1.1	3.6	1.5	1.5	-	-
6	37.5	81.2	0.2	63.2	1.9	3.0	2.4	1.3	-	-
7	66.7	287.7	3.1	82.5	2.4	1.1	1.7	2.0	-	-
8	30.8	16.2	5.4	46.6	2.5	0.5	1.1	2.2	-	-
9	64.3	272.4	4.4	287.7	1.3	0.1	0.7	2.1	-	-
10	7.4	43.8	11.7	87.5	1.4	0.8	1.3	2.4	-	-
11	24.0	8.4	10.0	53.9	1.7	1.5	1.0	2.8	-	-
12	52.5	58.1	2.9	88.0	2.7	1.0			-	-
14年1月	48.0	98.0	19.3	10.1					-	-
備考	負債総額1,000万円以上				年・月末残高 県の預貸残高は銀行・第2地銀 ・信用金庫の計 国の預金残高は実質預金				(総合) 年・月末残ベース	
資料 出所	帝国データバンク				県・国ともオフショア勘定を含む 日本銀行福島支店 福島県金融経済概況」 日本銀行 経済統計月報」					

区分	27 中小企業業況判断DI						市場			
	福島県						28 株式		29 円相場	
	年月	全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	株価	出来高	インターバンク相場 (東京市場) 中心値平均
								東証株式 (第1部)	東証株式 (第1部)	
							(円)	(100万株)	(円/米ドル)	
H10年	-	-	-	-	-	-	15,359.83	121,595	130.90	
11	-	-	-	-	-	-	16,788.51	141,200	113.91	
12	-	-	-	-	-	-	17,160.77	169,600	107.77	
13	-	-	-	-	-	-	12,102.37	199,533	121.53	
12年7月	17.8	4.8	61.2	10.5	17.6	23.5	16,959.93	14,493	107.90	
8	21.2	10.6	59.6	13.5	26.2	22.6	16,329.89	13,435	108.07	
9	19.6	8.4	43.5	29.4	32.3	15.5	16,168.29	12,274	106.75	
10	19.8	2.7	51.0	40.5	47.3	5.8	15,311.70	11,353	108.37	
11	24.4	14.2	62.3	31.0	36.7	0.0	14,760.87	11,821	108.89	
12	24.7	13.2	64.7	25.0	40.6	4.3	14,409.74	13,964	112.21	
13年1月	40.7	32.2	53.2	46.9	55.6	32.7	13,720.95	12,218	117.10	
2	38.0	40.1	53.7	24.1	48.1	15.8	13,266.27	13,561	116.04	
3	43.3	48.7	68.9	44.3	38.0	14.3	12,708.47	19,202	121.12	
4	45.5	43.1	72.0	43.8	49.4	28.3	13,411.84	20,053	123.83	
5	48.3	47.5	61.5	46.0	58.0	32.0	13,975.55	18,178	121.93	
6	54.2	54.4	69.6	52.3	63.5	31.7	12,974.89	17,466	122.15	
7	54.2	58.6	54.0	49.2	62.9	36.4	12,151.11	14,093	124.68	
8	57.8	60.4	70.6	51.6	59.6	44.3	11,576.21	17,063	121.61	
9	61.0	64.3	73.2	60.6	56.8	46.4	9,996.83	16,003	118.98	
10	64.2	65.1	68.6	58.3	69.8	57.7	10,438.90	17,272	121.28	
11	63.9	69.5	73.5	51.6	60.0	56.5	10,511.22	16,428	122.31	
12	65.2	68.7	59.2	61.7	64.5	61.6	10,496.20	17,996	127.36	
14年1月	64.5	66.1	65.3	53.0	75.9	56.6	10,300.79	14,641	132.67	
H10年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
12年7月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
13年1月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
14年1月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
備考	前年同期(円)比で「良い」-「悪い」社数構成比(各月末時点)						日経平均 (225種)	売買株数	直物相場	
資料 出所	県産業振興センター						日本経済 新聞社	東京証券 取引所	日本銀行	

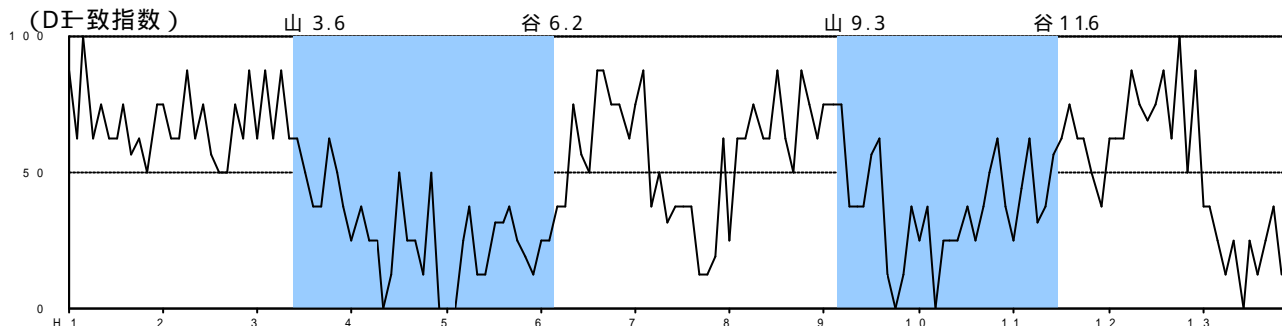
### 3 景気動向指数 (福島県)

11月の景気動向指数は、先行指数22.2%、一致指数12.5%、遅行指数50.0%となった。

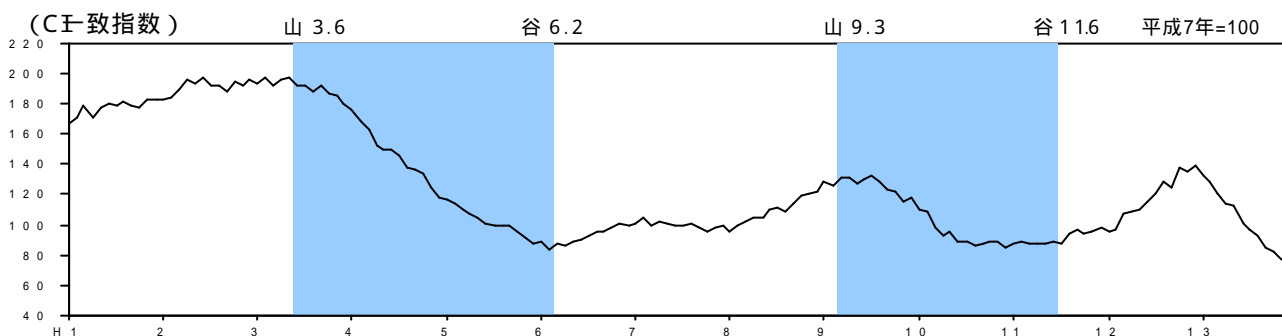
先行指数は、10か月連続で50%を下回った。

一致指数は、11か月連続で50%を下回った。

遅行指数は、15か月連続で50%を下回った後、50%となった。



DIが概ね3か月連続して50%を上回っていれば景気拡張期、下回っていれば景気後退期と判断される。



CIでは一般に、一致指数が上昇しているときが景気拡張期、下降しているときが景気後退期である。

D表

区分	景気動向指数					
	福島県			全国		
年月	先行指数	一致指数	遅行指数	先行指数	一致指数	遅行指数
12年7月	88.9	75.0	57.1	50.0	72.7	42.9
8	88.9	87.5	28.6	79.2	81.8	57.1
9	77.8	62.5	14.3	50.0	45.5	42.9
10	66.7	100.0	28.6	41.7	72.7	71.4
11	22.2	50.0	42.9	33.3	36.4	57.1
12	61.1	87.5	14.3	41.7	81.8	71.4
13年1月	50.0	37.5	35.7	16.7	45.5	42.9
2	33.3	37.5	42.9	8.3	9.1	57.1
3	38.9	25.0	42.9	8.3	9.1	35.7
4	33.3	12.5	28.6	41.7	18.2	28.6
5	33.3	25.0	28.6	58.3	27.3	14.3
6	11.1	0.0	28.6	25.0	22.7	28.6
7	44.4	25.0	42.9	37.5	9.1	71.4
8	27.8	12.5	42.9	33.3	0.0	42.9
9	22.2	25.0	14.3	25.0	9.1	28.6
10	22.2	37.5	14.3	P 0.0	P 0.0	P 33.3
11	22.2	12.5	50.0	P 9.1	P 10.0	P 16.7
12				P 36.4	P 20.0	P 33.3
採用指標数	9指標	8指標	7指標	12指標	11指標	7指標
資料出所	県：統計調査課「福島県景気動向指数」			は訂正值 Pは速報値		
	国：内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」					

一部の計数は速報値を用いており、確報訂正により、前回発表の計数と相違する場合がある。

**製造業**

1月決算ですが、増収増益になると思います。業績の原因、内部80%、外部20%と内部の充実に努めています。【食料品】

資金借入環境については、現在までと同じであるが、金融関係の貸し渋りは一層厳しい。従って今後はできる限り社債等の発行により利子負担の軽減、利益の充実に計る考え。【食料品】

限界だと皆言うが、良く続けて行くものと感心する。【縫製】

中国への生産を行うため、国内の生産工場は縮小の見込みとなります。【縫製】

最低賃金の毎年自動更新的にアップするのが雇用事情をかえって圧迫しているのを見るに忍びない。民意の痛みの分からない審議会を何とか廃止する道はないか教えてほしい。【木材・木製品】

日本は社会全体が沈下しているので我が建築も見通しが暗い。時限立法でよいから土地譲渡税、消費税の引き下げを願いたい。【木材・木製品】

昨年と比べてもひどいので3、4月の資金繰りで頭が痛い。【木材・木製品】

業界は売上の減少。当社は郡山地区は減少。東京営業所を開設したため売上は上昇。【印刷】

自社業界とも戦後最低の大不況であり、従業員のリストラか1ヶ月間の生産日数を15日にしないと営業の継続はできない状態である。【窯業・土石】

5月の連休中の大せとまつりの売上増により、多少改善が見込まれる。【窯業・土石】

需要動向の急速な変化に対応するため、当期希望退職による減員と一部工場の閉鎖。資産の除去を行う。【一般機械】

資材業者は、ゼネコンのマージンにすべて持っている。直接発注をしてほしい。直接発注になれば、役所経費も削減できるし、末端業者(我々)も浮かべられる。【窯業・土石】

主力製品が中国発注となり、受注減のため鋳物部品を廃止することとなった。今後、競合部門は国内では同じになる。【鉄鋼・非鉄】

客先の受注予想も不透明の状況で今後の方向が分からず苦慮している。【鉄鋼・非鉄】

H13.11月が底で12月、1月と1割以上受注が増加したが、新規開始の影響かなと思っています。【金属】

取引先倒産による受注減で人員に過剰感が出てきた。受注量に見合った人員体制にしました。【金属】

6月頃、各社とも在庫調整が完了すれば、7月以降は引合が出だすものを期待しています。全体では10月以降になれば明るさが出るものと思います。【一般機械】

装置類の受注価格の下落に伴う採算面・人員配置に困難を生じています。【一般機械】

12~1、2月受注、全くないに等しい。2月注文あるも、パーツメーカー倒産廃業等あり、部品入らずスムーズな生産できず。【電気機器】

4月から学校が週休2日制になるので、小学生を対象に学習塾への業種参入案内が東京からあった。製造業と分かっている案内のようで日本国はこれから先一体どうなるのだろうか。【電気機器】

漆器素材の製造に従事している。生活様式と需要の変化による状況にあり今後ますます受注が減少すると考えます。【漆器】

プラスチック製造はますます厳しくなって行きます。現在の所、新規物はなし。【プラスチック】

**建設業**

食いつなぐために、採算を度外視して受注競争され、品質が徐々に低下しているように思う。安く受注するとどうしても安全面等がおろそかになる傾向にある。また、業界という秩序があったものが、自己のみを守

るのが精一杯で同業者とのトラブルが発生しやすくなっている。【建築】

公共事業減に伴い売上が期待できない状況である。3割くらい減ることが予想され固定費とりわけ人件費の削減に取り組みました。【建築】

**卸売業**

1月は特に悪い。自分達の商売は2月21日より春物納入のため良くなると思う。【衣服】

昨年11月から隔月10%超の売上を達成し、1月は特に良好であった。様々な要因があるが、2月以降も伸ばせると思う。【衣服】

3カ月前の予想は前年同月と比べると悪化。(当社は季節商品を扱っている。)【衣服】

取引先において代金の支払いが滞っている会社が増加している。【飲食料】

地域においては整理解雇を含め、急速増加の負の処理がある。雇用改造改革のみならず、様々な問題が山積みしていると思われる。【飲食料】

特にいわき地区の消費マインドの冷え込みを感じます。【鮮魚】

まだまだ悪化しても良い。全てにおいて低下している。人も物も変革が必要です。【鮮魚】

構造不況業種のため、営業努力での業種ぶれ(良い方に)をするしかない。雇用調整をしないで、増収増益を目指していく。【機械器具】

今年度の状況は前年度より良好ですが、まだ先が読めない状況は変化なし。【機械器具】

**小売業**

輸入品への関税強化。【衣料】

毎月厳しい状況で報告しておりますが、3カ月前など全く分かりません。我々の業界は、季節の悪い方向に向かっており大変です。【衣料】

問屋がカルテルを結び、ビール発泡酒を一時的に値上げ、消費者には転化できず、ますます厳しくなっている酒屋業界です。【飲食料】

消費者の老齢化が急増。【飲食料】

「聖域なき構造改革」で金融機関の貸し渋りは困ったものだ。政府系金融機関の強化を図ることは中小企業として歓迎したい。政府系金融機関は絶対に必要である。【飲食料】

業況良は、新型発売につき一時的に思われる。【自動車販売】

この2~4月の決算期の動きが1つの不況の山か。世界に売れる物を作ることが日本再生のカギ。特許の中に埋もれている物があるのに。【大規模店】

客数、客単価は前年並みであるが、買上点数は減少傾向。【大規模店】

降雪が無く、当月は売り上げ不振だが春に期待できそう。【その他】

建築塗装関連需要減少。約1/5の使用量落ち込む。【その他】

**サービス業**

正月後、極端に悪化。【観光旅館】

業界一体となり会津観光の宣伝をしたい。【観光旅館】

規制撤廃により車が増えて客が減る。【観光旅館】

昨年の米国の同時多発テロ事件以来、海外、国内を問わず航空機利用の旅行が減少した。【観光旅館】

一部荷主企業より値下げ要請がある。まだ運賃が下げ止まっていない。【運送】

月々の経費の見直しをするも詰めようがない状況。引き落としのやりくりが大変です。【自動車整備】

団地(協同組合)の同士の倒産、そしてお客様の倒産、コストダウン要請、競争激化と良くない話ばかりです。つぶれないよう頑張ります。【その他】

## 5 中小企業景況レポート(平成14年1月分)

福島県中小企業団体中央会

### 食品製造業

**乳製品**：BSE問題が起こった昨年9月以降、影響がボディーブローの様効いてきている感がある。それに追いつけかけのような今回の雪印食品による食肉(輸入牛肉)詰め替え事件。影響がないとはいえない。非常に厳しい状況である。

**豆腐油揚**：売上では前年比横ばいであるが円安誘導で原料大豆が高値となっている。収益は益々厳しくなっている。

**パン**：年が明けてあつと言う間に1月が過ぎようとしているが、相変わらず日常のあいさつは不景気の話ばかり、暖冬の気候とは関係なく、温度を抑えた暖房でじっと我慢の日々が続いている。庶民不在の政治抗争ばかりが過熱して只々あきれられるばかり、一日も早い信頼回復が望まれる。景況は依然として冷え込んだまま。

**味噌醤油**：味噌・醤油の価格低迷は依然として続き、大手メーカーの不当廉売は当県中小零細組合員に相当な圧力が加わり、特に醤油製造業に関してはどうしようもない状況にある。以前から市場安定を業界の大きな課題として取り上げているが、ますます悪化の方向に進んでいる状況にある。不当な安売り価格の大手メーカーもさることながら、スーパー、百貨店など小売業者の生き残りをかける乱売合戦は中小醤油メーカーにとっては、製造業の続投ができるかどうか判らない深刻な問題にまで来ている現状である。主原料である大豆・脱脂加工大豆などが、価格の上昇気味であり、特に遺伝子組換えでない原料が徐々に少なくなっている状況。主原料が高く、製造価格がアップになっても、価格は据置どころか、低下している。このような状況で、当県の組合員でも廃業や、脱会する組合員が増加傾向にあり、後継者問題も依然として続いている。また、海外からは半製品や製品化した食品が入ってきており、空洞化状況にある。今後の不安ははかり知れない。

**乾麺**：取引条件、販売価格とも流通の要求度が強く、製造者にシワよせされ買い手市場化している。製造業が疲弊すれば都市はさびれてしまう。1月の売上は過去にない減少となる。

### 木材・木製品製造業

**製材業**：(県一円)組合員の中でも規模の大きな工場の休業、廃業(倒産か自己破産か不明)が目立ってきた。業界新聞(全国版)によれば、廃業ないし規模縮小を考える企業が3割、経営状況が厳しいという企業は8割以上。これは福島県内でも同じことが言える。

(外材輸入)住宅生産団体連合会の調査によれば、平成14年の新設住宅着工数は109万8千戸と110万戸割れの予測結果となっており、今度の景気動向によっては更に減少することになる。為替円安による輸入コストアップ、一方国内住宅資材価格デフレと引き続き厳しい状況下にある。

**家具**：竹田町家具の街振興会で共同の初売企画を行った。成果は低調とのこと。

### 出版・印刷

**印刷**：1月は年末からの受注繰越と需要不足が相俟って、例年より静かなスタートとなった。今年こそ明るい年になってほしい。そんな思いを込めて業界の新春の集いを開催した。印刷業界は依然として受注産業から抜けきれないでいる。今後得意先ニーズ、特に電子メディアとの共存にはしっかりと対応でき得る営業力の構築に企画提案型を積極的に売り出すことが重要である。対前月比、対前年比共減。

### 窯業・土石製品製造業

**コンクリート製品**：県中・相双の2支部の出荷状況は前月比で増加しているが、県北・会津・いわきの3支部を含む全体では、約5%減少している。

**生コン**：平成14年1月の出荷額は102.6千立方メートルであった。公共工事の激減に伴い、出荷量が減少している。

### 鉄鋼・金属・一般機械製造業

**各種プラント機器**：1月度は12月度に比べて、引き合い件数、受注額とも増加した。これは3月期決算会社からの引き合い増によるものと思われる。

**電子工業**：1月に入り同業社間においては一時休業と複数の工場整理が始まり、3月末迄には相当数の工場閉鎖と人員削減が進みそうな気配である。失業率も3月末には今以上の水準になるのではと懸念される。

### 卸売業

**卸売業**：(県中地区)高級品指向と低価格指向の二極化が益々進んでいる。高価格物は買い叩かれ、低価格物は利幅がとれず、いずれにしろ収益をあげるのとは並大抵ではない。

(県南地区)資金繰り悪化の企業散見される。ボーナス不支給、またはカット等により、個人消費低下に伴い、取引先受注量は減少し、売上高、収益状況は不振である。

**再生資源**：新年に入っても再生資源業界には明る

さは未だ見えない。鉄骨や古紙は東南アジアへの輸入が増え、国内の需給が引き締まってきた。但し、慢性的な低価格と発生量の減少で回収システムが綻び始めている。今年あたりが業界存続の最後の山場になるのではないかと。

**肥料卸**：1月期は、平年に比べ局地的な降雨や異常高温であったことなど、気象影響から取扱い量が減少した。一方、共同購入メーカーの状況を調査したところ、取引が好調で前年比50%増と業績を伸ばしている。県内の農作業も2月からと見ている。

### 小売業

**共同店舗**：(県中地区のNショッピングセンター)スーパー部門で、客数の増加(昨対)があるものの、一品単価、買上点数の減が大きく、前年比を割っている。

**石油**：1月、一部の元売において若干の仕切上げが実施された。県内市況は、軟化傾向にある上、暖冬の影響による灯油売上の減少が経営状況の悪化に更なる拍車をかけている。

**食肉**：大手メーカーの失態により業界全体の信頼の失墜に繋がり、一層消費者離れがすすみ、売上減による集金率の悪化がみられる。真面目に販売活動している者がバカを見ている状態である。雪印問題では、消費者の食肉に対する不信感がつのり、業務が行いづらくなっている。全体に資金調達が難しくなっているようである。

**米穀**：一般消費需要は市場全体のデフレ的景況を反映、定価格商品への要望が一段と強くなり、このような状況が当分続くものと推察されるところであり、今後対応について一層の努力を必要とするところである。

### 商店街

**福島市**：初売は2日より始めたが、昨年より人出が少なく売上高も低調であった。特に午後3時頃より雪となり人通りが全くとなった。1月全般でも消費者は郊外店に流出したまま戻らず、2002年の厳しいスタートとなった。

**郡山市**：初売り好調の報道があったが、残念ながら商店街はさしたる影響なし。1/11(金)、夜間イベント「冬もおおまち笑・SHOW・商でない」とを実施、2/8(金)を含め年間10回の開催となり、4月からの14年度につなげる予定。

**会津若松市**：長崎屋閉店セールで賑わいがみられ、集客となった。

**原町市**：サティ閉店後の取扱いが話題の中心と市

長選挙が本格化して来た関係で「選挙の年は売上が落ちる。景況が悪化する」とは昔から言われて居る通りなのか、街中、全く静かである。年始の売上は昨年の半分という声が大半をしめる様である。

### サービス業

**旅館業**：(土湯温泉)連休が3日以上になると宿泊が多くなる。(1~2月の暇な時期でも)宿泊客の意見として、料理内容の問い合わせが多くなってきたので、料理の差別化が必要となってきた。(各旅館毎の独特なメニューとお客様の立場に立った食の開発が課題となっている)学校の週休2日制により、宿泊形態に変化が生ずるものと思われる。

### 建設業

**建設業**：(県一円)当組合としては、「失業なき労働移転」と称した雇用対策として、訪問介護員養成研修会(2級課程)を1月から実施している。組合員の中にも月1社程度倒産があり、今後はますます厳しくなりそうである。

(県南地区)河川災害復旧工事、下水道工事の発注が増加したので、景況は若干先月より改善された。しかし、工期が3月中の工事が多いので、経費が必要以上にかかりそうで、収益状況は急激に良くはならない。

**電気工事**：昨年末同様悪化のまま推移しているのが現況である。

**内装工事**：1月は正月休業等で労働日数も減少、全体的には活性化なし。

### 運輸業

**トラック運送**：(県北地区)トラック運送業界は、先月同様、各産業界の生産活動の不振及び販売活動の不振から、一般貨物の輸送量は低迷したままである。実働日数が少なく、経営状況は一段と厳しくなっている。

**ハイヤータクシー**：雪が少なく、比較的寒くない日が多いことも利用客減少につながっている。例年の傾向とは云え、業界は厳しい。新道路運送法が2月1日に施行され、需給調整規制の「免許制」から要件を整えば事業が行える「許可制」に大転換されるにあたり、法の習得は勿論、自由競争激化への深刻な心情が伺える。

## 参考

### 1 「福島県金融経済概況」

平成14年1月31日 日本銀行福島支店

県内景気は、生産レベル引下げの動きが続く中、こうした動きが雇用・設備投資に加え、個人消費へも影響するなど、悪化しつつある。

すなわち、企業の生産レベルは、在庫調整の進捗等から一部に引上げの動きもみられるが、海外景気の減速や国内設備投資向け需要の減少等から一段の引下げないし減産を継続する先が多く、全体では引続き低下している。

また、住宅投資が減少傾向にあるほか、公共投資も総じて減少基調にある。更に、個人消費は、大型小売店売上げでは年末商戦や初売りが冴えず、前年割れを続けているなど低調に推移している。この間、設備投資も減少を続けている。

雇用情勢については、企業の生産引下げの影響等から雇用調整の動きが続いているなど悪化している。

### 2 「月例経済報告」

平成14年2月13日 内閣府

（我が国経済の基調判断）

景気は、悪化を続けている。

- ・個人消費は、弱含んでいる。
- ・失業率がこれまでにない高さに上昇するなど、雇用情勢は厳しさを増している。
- ・輸出に下げ止まりの兆しがみられ、生産は減少テンポが緩やかになったものの、設備投資は減少している。

先行きについては、厳しい雇用・所得環境や資本市場の動向などが、今後の民間需要を下押しする懸念がある一方、アメリカやアジアの一部に景気底入れの動きがみられるなど、対外経済環境の改善が期待される。

（政策の基本的態度）

政府は、構造改革を断行する一方で、デフレスパイラルに陥ることを回避するために細心の注意を払い、日本銀行と一致協力して、デフレ阻止に向けて強い決意で臨む。

1月25日には、日本が目指す経済社会の姿と、それを実現するための構造改革を中心とした中期的な経済財政運営について明確な将来展望を示した「構造改革と経済財政の中期展望」を閣議決定した。また、同日、「平成14年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」を閣議決定し、平成14年度一般会計予算案を国会に提出した。

政府としては、平成13年度補正予算等の着実な実施を図るとともに、平成14年度予算の早期成立に努めることとしている。



## 利用の手引き

### 1 はじめに

県内経済の動きについては、「福島県景気動向指数」を昭和60年から毎月発行して、景気の拡張・後退局面及び山・谷の基準日設定などの統計指標を提供してきました。我が国経済が低成長期に入り、よりコンパクトで全体像が把握できる統計指標への要望が高まってきましたので、関係機関の御協力もいただき、「最近の県経済動向」を平成6年4月より毎月発行しております。

今後さらに内容の充実に努めていきたいと考えていますので、ご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

### 2 しくみ

「最近の県経済動向」では、本県経済の動向の判断に役立つように、マクロ的（巨視的）観点で簡潔に概況を述べるよう努めています。代表的な経済指標については、経済統計上の重要性、速報性に着目して29の指標を選び、全国比較もできるようにしています。

また、景気動向指数の要点をグラフで示すとともに、参考として、日本銀行福島支店の「福島県金融経済概況」、内閣府の「月例経済報告」を取り上げました。

部 門	個 別 指 標 名	資 料 出 所	部 門	個 別 指 標 名	資 料 出 所
個人消費	大型小売店販売額	経済産業省		有効求人数	福島労働局職業安定部 厚生労働省
	乗用車新規登録台数	自動車販売店協会 軽自動車協会		有効求職者数	
建設需要	新設住宅着工戸数	国土交通省		雇用保険受給者実人員	
	公共工事請負金額	保証事業会社協会		現金給与総額指数	県統計調査課 厚生労働省
	業務用建築物着工棟数	国土交通省		所定外労働時間指数	
生産活動	鉱工業生産指数	県統計調査課 経済産業省		常用雇用指数	
	投資財生産指数		パートタイム労働者比率		
	消費財生産指数		物 価	卸売物価指数（総平均）	日本銀行
	鉱工業出荷指数			消費物価指数（総合）	県統計調査課 総務省
	鉱工業在庫指数		企業・金融	企業倒産件数・負債総額	帝国データバンク
	大口電力使用量	金融機関預貸残高		日本銀行福島支店 日本銀行	
	大口電力契約量	貸出約定平均金利			
雇用・労働	新規求人倍率	福島労働局職業安定部 厚生労働省	中小企業業況判断DI	県産業振興センター	
	有効求人倍率		市 場	株式	日本経済新聞社 東京証券取引所
				円相場	日本銀行